

令和元年度 医療事故等発生件数

[平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日]

| レベル | 件数 | 代表的事例と対応策 |
|--------------|-------|---|
| 0 及び 1 | 372 件 | <p>転倒転落(190 件) ベッドサイドに座しているところを発見。ポータブルトイレに行こうとした。 【対応策】 P バー2 本設置し、その間にポータブルトイレを設置した。</p> <p>与薬 (28 件) 朝・夕食後内服中の水薬を 1 日 3 回と思い込み、昼食後にも配薬した。 【対応策】 薬液準備時、薬液ボトルシールの表示を確認し、準備・配薬する。</p> <p>検査 (23 件) MRI 検査時、上腕部に腕時計が上がっていたのが服で隠れていて分からず、そのまま検査した。 【対応策】 確認シートに載っている物品を一つ一つ確認する。意思疎通が困難と思われる場合には、目視だけでなく、服の上から触って確認する。</p> <p>輸液 (14 件) 9 時に 500ml の点滴を 3 時間投与予定で開始したが、1 時間で終了していた。 【対応策】 点滴施行時は、頻回に訪室し点滴の滴下速度の確認を行う。留置している四肢を屈曲伸展させて、滴下速度の確認をする。</p> <p>注射 (12 件) 腹部 CT 検査のため朝食が遅食中、検査前に定期的インスリン注射を施行した。 【対応策】 遅食の患者のインスリンは準備しない。注射前に検査の有無・遅食の掲示物があるか必ず確認してから投与する。</p> <p>チューブ類の管理 (11 件) 静脈留置針を挿入したままで、退院された。 【対応策】 退院時のダブルチェック・退院前の清拭・更衣介助時に確認する。点滴が中止になった時点で静脈留置針の抜去を必ず行う。</p> <p>その他 (94 件) 同姓患者のリストバンドが装着されていた。 【対応策】 リストバンド装着時の手順マニュアルを作成し、周知徹底した。</p> |
| 2 | 23 件 | <p>採血後の内出血 採血後、止血を確認しインジェクションパッドを貼り、他の検査に行ってもらった。数分後、採血部位が内出血で腫れているとの訴えがあった。 【対応策】 「採血を受けられる患者さまへ、採血後の注意点」を作成し、採血施行場所へ掲示。採血時に説明することをスタッフへ周知した。</p> |
| 3 | 32 件 | <p>職員の針刺し事故 1 件、職員の外傷・熱傷等 5 件、転倒転落による骨折等 13 件、移動介助や処置時の表皮剥離 7 件、体重測定間違いや咽頭異物等その他 6 件 車椅子からベッドに介助で移乗する際に車椅子のフットレストが下肢に接触し、皮膚切傷が生じた。 【対応策】 接触が考えられる機材に対してタオル等で保護する。可能であればフットレストを除去し移乗を行う。介助スペース周囲の環境調整を行い、事前に十分な介助スペースを確保する。</p> |
| 4 | 0 | 該当なし |
| 5 | 0 | 該当なし |